

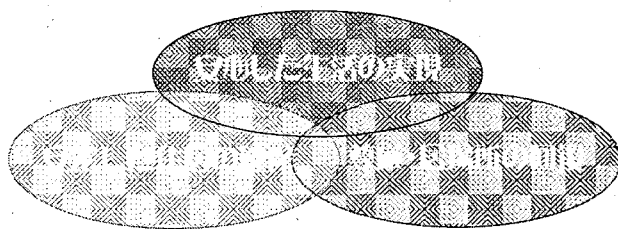
特定非営利活動法人 自立支援センター

ふるさとの会事業概要

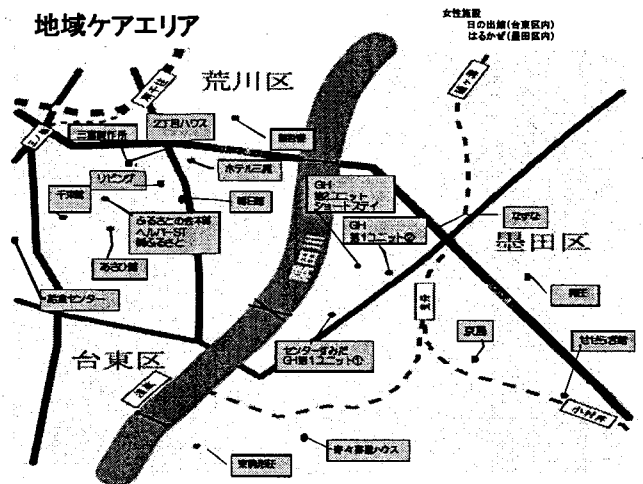


ふるさとの会の社会使命

生活困窮者が地域のなかで、安定した住居を確保し、安心した生活を実現し、社会のなかで再び役割や人としての尊厳・居場所を回復するための支援を事業として行うこと



事業展開エリア



組織概要



| | |
|------|---|
| 名称 | 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会 |
| 設立 | 1990年1月1日(法人認証:1999年10月) |
| 所在地 | 〒111-0031 東京都台東区千束4-39-6-4F TEL03-3876-8150 FAX03-3876-7950 |
| 成り立ち | ホームレス支援のボランティアグループとして、1990年に「ボランティアサークルふるさとの会」としてスタート。 1999年に特定非営利活動法人の認証を受け、法人格を取得。 |
| 代表者 | 代表理事 佐久間 裕章 |
| 利用者数 | 宿泊所 103名、自立援助ホーム 147名、就労支援ホーム 31名、グループホーム 13名、地域居宅 692名 総計 986名 |

関連団体

- ・ボランティアサークル ふるさとの会 (1990年設立: 夏祭り・越年事業等の開催)
- ・有限会社 ひまわり (2002年設立: 介護事業)
- ・株式会社 ふるさと (2007年設立: 建物清掃事業・賃貸借保証事業)
- ・有限責任事業組合 新宿・山谷ネットワーク (2008年設立: 就労支援相談事業)
- ・特定非営利活動法人 すまい・まちづくり支援機構 (2009年認証: 企画・起業支援事業)
- ・更生保護法人 同歩会 (2009年認可: 更生保護相談事業)

| | |
|------------------|--------------------|
| 年間事業規模 | 7億9百万円(グループ09年実績) |
| 社員数 | 18名 |
| 職員数 | 186名 |
| ふるさとの会職員数 | 110名(内常勤46名非常勤64名) |
| (有)ひまわり職員数 | 40名(内常勤7名非常勤33名) |
| (株)ふるさと登録職員数 | 33名 |
| (特非)すまい・まちづくり職員数 | 3名(内常勤3名) |
| | <2010年3月現在> |

最新トピック!

- ① 社会的企業への資金調達を目的とした「合同会社ふるさと」を設立
- ② 旅館 朝日館 (台東区) 3月1日開所



ふるさとの会の主な事業

特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会

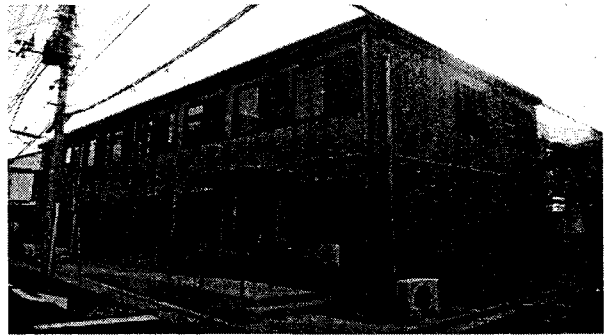
自立支援型宿泊所・自立援助ホーム等の運営

○ 多様な利用者の居住支援

4か所の宿泊所と、4か所の自立援助ホーム、1か所の旅館を運営しています。支援の必要な独居高齢者や障害者、地域の高齢者を含め213名の利用者に住居を提供しています。

○ 生活支援と社会サービスのコーディネート

24時間365日職員が常駐し生活をサポートしています。見守りと緊急時の対応、金銭管理、服薬のサポートや、三食の食事提供を行っています。また、利用者のニーズに応じて、往診や訪問介護など専門的な社会サービス導入のコーディネートを行っています。



↑ 2009年5月開設 ふるさと晃荘



苦情解決のための
第3者委員会を
設置しています

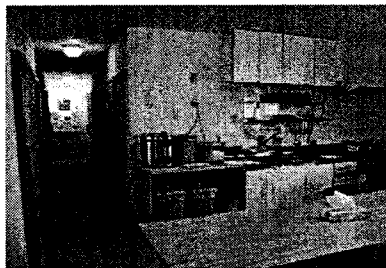


↑ ふるさと晃荘の
日常風景



↑ 2010年2月開設
ふるさと寿々喜屋
ハウスの内装 ↓

ふるさと寿々喜屋
ハウスの内装 ↓



2010年3月開設
旅館朝日館 →



ふるさとの会 宿泊所・自立援助ホーム

2種宿泊所

| | | |
|-----------|-----|------|
| ふるさと千束館 | 20名 | |
| ふるさと日の出館 | 18名 | 女性専用 |
| ふるさとあさひ館 | 26名 | |
| ふるさとせせらぎ館 | 38名 | |

自立援助ホーム

| | | |
|-------------|-----|-------|
| ふるさとホテル三晃 | 78名 | |
| ふるさと晃荘 | 18名 | |
| ふるさと東駒形荘 | 12名 | 認知症対応 |
| ふるさと寿々喜屋ハウス | 20名 | |

旅館

| | | |
|--------|-----|--|
| 旅館 朝日館 | 16名 | |
|--------|-----|--|

食事と介護の提供 & 就労機会の創出

○入谷給食センター



栄養士がつくった献立に基づいて食事を作り、各事業所へ配送しています。宿泊所・自立援助ホームおよび地域生活支援センターの利用者さんへ毎日合計650食を提供しています。

○ヘルパーステーション



地域のケアマネージャーが作成するケアプランに基づき、入浴や通院などの介護を提供しています。ヘルパーを目指す人たちの就労先としてヘルパー育成にも、力を入れています。

墨田エリア

○ 地域生活支援センター「すみだ」

「ホームレス地域生活移行支援事業」によって路上生活から地域でのアパート生活に移った方、アパート保証を通じて地域で生活を営み始めた方など計 442 名のアフターケアを継続して行なっています。



○ 墨田区元ホームレス被保護者自立生活支援プログラム

墨田区からの委託を受けて元ホームレス被保護者の地域生活を支援しています。アパートや民間の宿泊施設、簡易旅館で生活を送る被保護者を対象として、自立にむけた生活をサポートします。

(21年度は 62 名が支援の対象)

○ 精神障害者グループホームふるさとホーム

2 ユニット (定員 7 名・6 名) 運営。

利用者は日中作業所や授産施設などに通っています。また、地域の商店などのご協力で就労体験なども行っています。



台東エリア

○ 地域生活支援センター「台東」

簡易旅館またはアパートにお住まいで、主に生活保護を受けている方、計 112 名への支援をしています。共同リビング (日中の居場所)・食事提供・家事援助・安否確認・金銭管理などを行っています。

*(財)東京都高齢者研究・福祉振興財団の助成により運営



○ 敬老室管理委託事業

城北労働・福祉センター分館敬老室の管理・運営をしています。日中の居場所提供、ラジオ体操のほか、シャワー室利用、訪問看護ステーションコスモスによる健康相談、山谷マックによる酒害相談なども行っています。



○ ふるさと共済会

米や新鮮野菜、古着などの生活必需品を安価で販売しています (ガレージセール)。その他、無料健康相談会 (東京都社会福祉協議会医療部会)、イベントや講習会の開催等を毎月行っています。会員登録者数 103 名 (2010 年 3 月現在)

就労支援事業

○ 就労支援ホーム

居住支援と就労支援を総合的にを行います。台東区および墨田区に 3 か所、計 22 世帯 (男性 16 名、母子・女性 6 世帯) を受け入れています。生活上の困難を抱える、母子家庭や少年への就労支援と生活のサポートに力を入れています。



○ ワークステーションふるさと

母子家庭をはじめ、身体状況から就労に就くことが難しい精神・身体障害者等さまざまな就労阻害要因を抱える方々に対して、技能講習のコーディネート、臨時・軽易な仕事の相談・斡旋を行っています。

※有料職業紹介事業許可番号 13-ユ-30009

○ 緊急就労・居住支援事業

困難な問題を抱えたホームレスを対象として、就労の機会を提供し、併せて居住支援、生活支援を行うことにより、彼らの自立を促進します。21 年度は 10 名が支援の対象。(東京都からの委託事業)



○ ホームレス就業支援推進協議会への参加

厚生労働省の委託による事業として、ホームレス状態からアパート生活に移行した人々への職業紹介、求人開拓、職場体験講習 (延べ受入れ数は 156 名) などを行います。現在 7 名の方がふるさとの会で受講後、株式会社ふるさとで雇用されています。

(2010 年 3 月現在)

有限会社 ひまわり ～在宅介護サービスを提供します～

ヘルパーステーションふるさと 訪問介護・居宅介護支援

地域の宿泊所・自立援助ホームで暮らす要介護高齢者や障害者、一人暮らしをしている高齢者等にヘルパーの派遣やケアプランの作成を行っています。



利用契約者 142 名

*事業者番号：
1370601245

自立援助ホーム「ふるさと東駒形荘」

要介護高齢者、特に認知症の方を対象とした定員 12 名の自立援助ホームです。



四季折々の行事の他、1年に2回程度、「認知症予防合宿」と題しての温泉旅行をしています。

←クリスマス会の様子

株式会社 ふるさと ～雇用の創出と居住支援～

ビルメンテナンス事業部

ふるさとの会の各事業所での清掃、調理補助、イベントの会場設営、部屋の片付け、引越しなどを主に請け負っています。その他、台東区役所、台東区社会福祉協議会などから仕事の紹介を受けています。



<実績>

契約社員： 計 87 名
路上生活者： 3 名
移行支援参加者： 66 名
生活保護受給者： 17 名
日雇労働者： 1 名

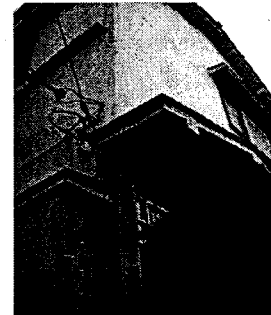
過去就労総計：328 名
(2010年3月末現在)

雇用の創出を図ると同時に『総合評価一般競争入札』への参加を目標に事業をすすめております。

賃貸借保証事業部

契約更新及び新規賃貸契約に伴うアパート賃貸借保証を行なっています。これまで賃貸借保証契約を締結した方は 365 名となっています。

(2010年3月現在)



有限責任事業組合 新宿・山谷ネットワーク ～ギャラリーカフェの運営～

Gallery Café 三富製作所

ねじ工場として地域にその歴史を刻んできた『有限会社三富製作所』の建物を改装し、就労支援ホームおよび生活再建相談センター、そして、ギャラリースペースとして新たにオープンしました。

アートの楽しみ方に出会う「場」を提供するとともに、コミュニティカフェとして、ふるさとの会事業の利用者、ボランティア、職員、地域の方々などが集い、自由に情報を交換しながら、くつろげる「場」を目指しています。

—工場として地域のランドマークとして存在していたその機能を継承し、ギャラリーカフェとして、用途を新たにした建物の、コミュニティの中で再生を期待し、旧建物名をあえて使用させていただいています。



就労支援事業

NPO 法人新宿ホームレス支援機構とふるさとの会の連携により、山谷地域および新宿地域において就労支援ホームを運営し、就労支援を行っています。

08年12月開設
就労支援ホーム「2丁目ハウス」
(台東区日本堤 11名定員)

10年2月
就労支援ホーム「北新ハウス」
(新宿区新大久保 8名定員)

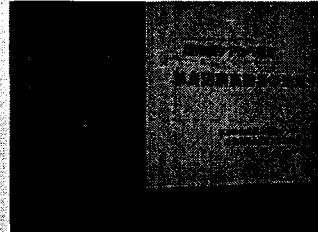
合同会社 ふるさと ～社会的企業への資金調達～

単身の認知症等要介護高齢者に住まいを提供する自立援助ホームや、就労阻害要因を抱える方をサポートする就労支援ホーム、そして貧困を解決する社会的事業等の立ち上げにおける資金調達、事業投融資を行うことを目的として、2010年2月に設立しました。NPOバンク等の非営利金融との連携を図っています。

『山谷』地域ケア連携をすすめる会

ふるさとの会が地域の事業者呼びかけて発足しました。山谷地域で活動する医療関係者、介護事業所、福祉事務所、居住支援 NPO、その他社会サービス事業者等が集まり、それぞれの立場が抱えている課題について共有。地域のケア体制の充実に向けて活動しています。17 の運営団体・個人が所属しています。2 去る 2 月 13 日に台東区立台東病院会議室にて、第1回総会記念シンポジウムを開催し、医療・介護従事者、福祉事業者、ホームレス支援団体、研究者、行政関係者、報道機関、弁護士等、47 団体より計 126 名の参加がありました。

運営委員長：浅草病院医師 本田徹 副運営委員長：三井井記念病院 尾方欣也
事務局：特定非営利活動法人友愛会 吐師秀典 特定非営利活動法人山友会 油井和徳
特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会 滝脇憲



ボランティアサークルふるさとの会

越年冬祭り・山谷夏祭り

ふるさとの会が 30 年以上にわたりボランティアに続けてきた活動です。路上生活者への食事提供、アウトリーチ活動をしています。夏祭りでは、隅田川での施餓鬼供養、屋台出店や地域のアーティストを呼んで、コンサートや盆踊りなどを、越年冬祭りでは、行政機関の窓口が閉まる年末年始、6 日間にわたり、隅田川での炊き出しや東京都の越冬施設への出前演芸などを行っています。



敬老室・日曜開放

日曜日は敬老室をボランティアサークルふるさとの会が運営し、ビデオ上映、バス旅行など、様々なイベントを開催しています。



特定非営利活動法人 すまい・まちづくり支援機構

企画企業支援

○ CDC 事業展開

各分野の専門家（NPO、まちづくり、金融、会計、医療・保健など）が社員となり、NPO に対してコンサルティングやアドバイザー事業を行っています。ふるさとの会が日本版 CDC を推進していくため、その多彩なネットワークを活用して、具体的な事業提案・点検を行っています。

○ 相談室ふらっと ～ケアする人のケア～

当法人の顧問である佐藤幹夫氏にスーパーバイザーを依頼。すまい・まちづくり支援機構からは保健師が参加し、利用者のみならず、ケアをする職員の抱える困難にもケアをするための相談室を設置しています。

更生保護法人 同歩会 ～触法要保護者の支援～

生活再建相談センター

触法要保護者への相談支援を行うため「生活再建相談センター」を開設。再犯防止とホームレス化の予防として、開設 1 年ほどで 30 名を上回る相談を受け付け、法務省をはじめ、司法関係者と連携し支援を行っています。平成 21 年 7 月に、更生保護法人 同歩会として法務大臣より認可、9 月に保護司として 2 名が委嘱されました。相談業務・社会サービスのコーディネートに加え、更生援助金を活用し、公的機関が閉鎖される週末に一時保護・相談を行い、週明けに公的機関へ繋げるという「一時保護事業（援助金）」を行っています。新しい更生保護事業の推進にむけたアドボカシー活動にも力を入れています。

詳しくはふるさとの会HPをご覧ください <http://www.d5.dion.ne.jp/~furusato/>

ふるさとの会では、毎月一回メールマガジンを配信しています。

配信ご希望の方は、以下のアドレスまでお申し込み下さい info_furusatonokai@s3.dion.ne.jp

ふるさとの会の沿革

ボランティアサークルふるさとの会 活動開始

| | |
|----------|---|
| 1990年 | 「ボランティアサークルふるさとの会」を設立。毎日曜の炊き出し(おにぎり味噌汁)、高齢路上生活者を対象とした、隔週の給食・相談・娯楽提供プログラム、夏祭り、越年行事を主な活動とする |
| 1995年 | 「高齢路上生活者自立支援センター」設立。設立時の立ち上げ資金として、ハウジング&コミュニティ財団より助成を受け、マンションの一室でリビングサービス「共同リビング」プログラムを開始 |
| 1998年 4月 | 「自立支援センター」の活動実績が認められ、東京都地域福祉財団より助成を受ける |
| 1999年 6月 | 東京都第二種社会福祉事業宿泊所「ふるさと千束館」開設 |

特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会 設立

| | |
|-----------|---|
| 1999年 10月 | NPO法人格を取得。「特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会」としてスタート |
| 2000年 8月 | 単身女性を対象とした宿泊所「ふるさと日の出館」開設 |
| 2001年 4月 | 東京都城北福祉センター分館・敬老室 再委託による運営開始 |
| 6月 | 「ふるさとあさひ館」ならびに「訪問ヘルパーステーションふるさと」開設 |
| 8月 | 「日米ホームレスサービス供給者交流プログラム」に参加 |
| 12月 | 「就労支援ホーム・なすな」開設 |
| 2002年 3月 | 「自立支援センター墨田寮」生活相談業務を再委託により開始 |
| 2002年 8月 | 「ふるさとせせらぎ館」を墨田区に開設 |
| 11月 | 「ヘルパーステーションふるさと」をいろは商店街内に移転 |
| 2003年 4月 | 厚生労働省より「日雇い労働者等技能講習事業」を委託 更生施設等の清掃業務受託を開始 |
| 7月 | 「いろは会商店街をよくする会」を商店街と結成。いろは商店街清掃を開始 |
| 10月 | 「ヘルパーステーションふるさと」居宅介護支援事業を開始 |
| 2004年 5月 | ふるさとの会本部事務所、ヘルパーステーションふるさと事務所を千束四丁目に移転 |
| 2004年 11月 | 「精神障害者 グループホーム ふるさとホーム」を墨田区に開設 |
| 2004年 12月 | 平成16年度「ホームレス地域生活移行支援事業」を開始。 生活サポート及び就労サポート業務受託 |
| 2005年 4月 | 職業紹介・人材派遣事業所「ワークステーションふるさと」開設 |
| 2005年 6月 | 更生施設及び一般居宅被保護者等への「技能講習プログラム」提供開始 「自立援助ホームふるさと東駒形荘」を墨田区駒形に開設 「地域生活支援センター「すみだ」」を墨田区向島に開設 |
| 2005年 10月 | 「自立援助ホームふるさとホテル三晃」を台東区清川に開設 |
| 2005年 12月 | 「ふるさと入谷給食センター」を台東区入谷に開設 |
| 2006年 3月 | 苦情解決第三者委員会設置 |
| 2006年 4月 | 平成18年度「ホームレス地域生活移行支援事業」を開始 |
| 2007年 2月 | 「自立支援センター墨田寮」生活相談業務の委託が終了 |
| 2007年 3月 | 厚生労働省「日雇い労働者等技能講習事業」の委託が終了 |
| 2007年 4月 | 雇用弱者の求人開拓を目的とした「株式会社ふるさと」を設立 ホームレス就業支援推進協議会に職員を派遣 |
| 2007年 8月 | 精神障害者グループホーム 第2ユニットを開設 |
| 2008年 3月 | 「ホームレス地域生活移行支援事業」就労サポート業務の委託が終了 |
| 2008年 4月 | 墨田区より「元ホームレス自立生活支援プログラム事業」を受託 生活再建相談センター設立 |
| 2008年 8月 | 「山谷地域ケア連携をすすめる会」を共同立ち上げ |
| 2008年 12月 | 就労支援ホーム「2丁目ハウス」ならびに「はるかぜ」を開設 有限責任事業組合新宿・山谷ネットワークを設立 ふるさと共済会を発足 |
| 2009年 2月 | 「高齢被保護者等の地域における居住確保とケアのニーズ調査及びシステム構築の方法に関する研究会」(略称:支援付き住宅研究会)発足 「相談室ふらっと」発足 |
| 2009年 4月 | 特定非営利活動法人すまい・まちづくり支援機構を設立 精神障害者グループホームショートステイ事業開始 |
| 2009年 5月 | 「自立援助ホームふるさと晃荘」を開設 |
| 2009年 7月 | 触法障害・高齢者等を支援するため「同歩会」設立。更生保護法人として法務大臣より認可 平成21年度社会福祉推進費補助金(社会福祉推進事業)の申請が受理(「高齢被保護者等の地域における居住確保とケアのニーズ調査及びシステム構築の方法に関する研究」事業) |
| 2009年 9月 | 保護司として2名が委嘱 |
| 2009年 12月 | 東京都より「緊急就労・居住支援事業」を受託 |
| 2010年 2月 | 「ふるさと寿々喜屋ハウス」を開設 |
| 2010年 3月 | 「旅館・朝日館」を開設(旅館業) |